

第12回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会 開催案内

日 程：2015年10月31日（土）－11月1日（日）  
会 場：自治医科大学 地域医療情報研修センター（栃木県下野市）  
テ ー マ：「周産期メンタルヘルスケア～過去・現在・未来～」

学術集会会長：松原茂樹（自治医科大学産科婦人科学講座 教授）

参 加 費：正会員 3,000円・臨時会員 4,000円・学生 1,000円

※事前参加登録は行いません。当日、会場にてお申込みください。参加費は現金でお支払いください。クレジットカードはご利用出来ません。

【プログラム（予定）】

2015年10月31日 9:00-17:45（予定）

9:10-10:40 シンポジウム①

「周産期メンタルヘルスにおける多職種連携の充実に向けて ―各職種からの報告―」

10:50-11:50 特別講演①「周産期精神医学の過去・現在・未来」

座長；玉田太朗/自治医科大学名誉教授

演者；岡野禎治/日本周産期メンタルヘルス学会理事長

12:10-13:10 ランチョンセミナー①

14:00-14:50 会長講演

「論文書き方コツのコツ：まずは“それ”を言ってしまう！」

― 周産期メンタルヘルスケア論文作成を例にして ―

座長；岡野禎治/日本周産期メンタルヘルス学会理事長

演者；松原茂樹/自治医科大学産科婦人科学講座教授

15:00-16:30 シンポジウム②

「妊娠・産褥期のうつ病に対する職種間連携の役割と問題点」

16:45-17:45 教育講演「向精神薬の乳汁移行と母乳育児支援」

座長；桑田知之/自治医科大学産科婦人科学講座准教授

演者；伊藤直樹/帝京大学医学部附属病院小児科講師/妊娠と薬情報センター

18:00- 懇親会

2015年11月1日 9:00-16:00

9:00-10:30 シンポジウム③「出生前診断」

10:40-11:40 ポスターセッション

12:00-13:00 ランチョンセミナー②

13:10-14:10 特別講演②「母親の愛情深い養育が、乳幼児の脳の健全な発達に不可欠である」

― Resilienceを身に着ける ―

座長；田中光臣/栃木県産婦人科医会会長

演者；木下勝之/日本産婦人科医会会長

14:20-15:50 シンポジウム④

「新生児虐待の発生メカニズムと養育支援 ― よりよい制度の構築に向けて ―」

※周産期のメンタルヘルスに関わる一般演題を募集します。詳細は、日本周産期メンタルヘルス学会HP：<http://pmh.jp/index.html>にてご確認ください。